

●飛田雄一／単行本・論文目録（と、いうほどのものではないが、メモとして貼り付ける。2007年2月15日 飛田）20201010改訂、適宜改訂、だんだんと発表用ではなくて、自分用のメモになっている。小さなエッセイなども載せた。ついでに新聞記事も、むくげ通信の全記事も載せようとおもう。別に作っている旅行等の年表（非公表、、）に対して、これは、文章編か。2020年10月17日飛田 飛田関連新聞記事一覧も作りかけたがすべてここに書き込んだほうが便利ではないかと考えている。20250508改訂。飛田雄一 hida@ksyc.jp

1. 『教科書検定と朝鮮』（神戸学生青年センター出版部、1982年9月、共訳）
<https://ksyc.jp/publish/kyokashokenteitochosen/>
2. 『日帝下の朝鮮農民運動』（1991年9月、未来社）
<https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN06819841>
<http://webcatplus.nii.ac.jp/webcatplus/details/book/2228735.html>
3. 『朝鮮人・中国人強制連行・強制労働資料集』（金英達と共に編、1990年版（1990.7）、1991年版（1991.7）、1992年版（1992.7）、1993年版（1993.7）、1994年版（1997.7）、いずれも神戸学生青年センター出版部）
1990年版 <https://iss.ndl.go.jp/books/R100000001-I077295682-00>
1991年版 <https://ksyc.jp/publish/1991shiryoshu/>
1992年版 <https://ksyc.jp/publish/1992kyouseirodoshiryoshu/>
1993年版 <https://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784906460229>
1994年版 [https://ksyc.jp/publish/1994kyoseirenkoshiryoshu/](https://ksyc.jp/publish/1994kyouseirenkoshiryoshu/)
4. 『ハンドブック戦後補償』（1992年8月、内海愛子・越田稜・田中宏と共に監修、梨の木舎）
<https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN08162078>
5. 『十五年戦争重要文献シリーズ第12集、特殊労務者の労務管理』（1993年5月、飛田解説、不二出版）
<https://iss.ndl.go.jp/books/R100000096-I000805196-00>
6. 『韓国キリスト教の受難と抵抗・韓国キリスト教史1919-45』（新教出版社、1995年2月、共訳）
<https://iss.ndl.go.jp/books/R100000002-I000002445123-00>
7. 『震災の思想－阪神大震災と戦後日本－』（藤原書店、1995年6月、討論者のひとり）
<https://www.fujiwara-shoten-store.jp/SHOP/9784894340176.html> <https://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784894340176>
8. 『論集・朝鮮近現代史－姜在彦先生古稀記念論文集』（明石書店、1996年12月、河合和男・水野直樹・宮島博史と共に編）
<https://iss.ndl.go.jp/books/R100000002-I000002564967-00>
9. 『在日コリアン辞典』明石書店、2010年11月（監修者のひとり、一部執筆）
<https://iss.ndl.go.jp/books/R100000096-I007801942-00> 明石書店 HP
<https://www.akashi.co.jp/book/b68016.html>
10. 『人権歴史マップ 淡路・神戸増補版』（ひょうご部落解放・人権研究所、2014年3月、連合国軍捕虜病院等執筆）
<https://blrhyg.thebase.in/items/45445588>
11. 『現場を歩く 現場を綴る－日本・コリア・キリスト教－』（かんよう出版 2016.6 四六版 250頁 1620円）
※以下、飛田『現場』
<https://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784906902668>
12. 『心に刻み、石に刻む－在日コリアンと私』（三一書房 2016.11 四六判 255頁 1944円）、※以下、飛田『心に刻み』
<http://31shobo.shop-pro.jp/?pid=119409836> https://honto.jp/netstore/pdf-contents_0628151234.html
13. 『旅行作家な気分－コリア・中国から中央アジアへの旅－』（合同出版 2017.1 四六版 272頁 1620円）

- <https://www.godo-shuppan.co.jp/book/b474654.html>
14. 『時事エッセイーコリア・コリアン・イルボン（日本）一』 むくげの会、2018年5月、
<https://ksyc.jp/mukuge/hida-essay.pdf>
15. 『再論 朝鮮人強制連行』（三一書房 2018年11月
<https://31shobo.com/2018/10/18011/>
前田朗の紹介記事 https://maeda-akira.blogspot.com/2018/12/blog-post_25.html
16. 『阪神淡路大震災、そのとき、外国人は？』神戸学生青年センター出版部、2019年7月
<https://ksyc.jp/mukuge/hida-jisin.pdf>
17. 『極私的エッセイーコロナと向き合いながら』（社会評論社 2021.2 四六版 148頁 1720円）
<https://calil.jp/book/4784517510> <https://www.shahyo.com/?p=8481> もとのブログは、（プロローグ）
<https://ameblo.jp/rokko-you/entry-12911831714.html>（1ベ平連など顛末）<https://ameblo.jp/rokko-you/entry-12911831696.html>（2阪神大震災など）<https://ameblo.jp/rokko-you/entry-12911831698.html>
（3コリアン関連市民運動）<https://ameblo.jp/rokko-you/entry-12911831701.html>（4南京などツアコン記）<https://ameblo.jp/rokko-you/entry-12911831703.html>（5青丘文庫実録）<https://ameblo.jp/rokko-you/entry-12911831705.html>（6古本市全記録）<https://ameblo.jp/rokko-you/entry-12911831706.html>
（7ゴドワイン裁判）<https://ameblo.jp/rokko-you/entry-12911831708.html>（あとがき）
<https://ameblo.jp/rokko-you/entry-12911831712.html>
18. 『学生センター50周年を迎えたセンター、次の50年に向かって歩みます』（理事長・飛田雄一、神戸学生青年センター、2023年1月）<https://ksyc.jp/publish/50nenkinenshi/>
19. 特定非営利活動法人 NGO 神戸外国人救援ネット（代表・飛田雄一）編集『震災から30年救援ネットのあゆみ30周年記念誌』（神戸学生青年センター、2025年1月）<https://ksyc.jp/publish/gqnet30nen/>
20. 『資料集「武庫川と朝鮮人」』（後に（1）を作ったのでこれが（1））（神戸学生青年センター、2025年2月）<https://ksyc.jp/publish/mukogawatochosenjin/>／『資料集「武庫川と朝鮮人」（2）』（神戸学生青年センター、2025年3月）<https://ksyc.jp/publish/mukogawatochosenjin2/>
21. 『資料集「アジア・太平洋戦争下・神戸港における強制連行・強制労働—朝鮮人・中国人・連合軍捕虜—』（神戸学生青年センター、2025年月）<https://ksyc.jp/publish/kobepoortkyoseirenkokyoseirodo/>
22. 『あっちの山、こっちの川—むくげ通信・旅日記一』（神戸学生青年センター、2025年4月）<https://ksyc.jp/publish/mukugetabinikki/>
23. 『強制動員真相究明ネットワーク ニュース合本第一分冊（1号～10号）』（飛田は庵由香と共同代表、神戸学生青年センター、2025年4月）<https://ksyc.jp/publish/sinsou-net-news1/>／『強制動員真相究明ネットワークニュース合本 第二分冊（11号～20号）』（神戸学生青年センター、2025年4月）<https://ksyc.jp/publish/sinsou-net-news2/>

●飛田雄一・論文／雑文ほか目録（むくげ通信の記事については、主要なものののみ掲載する。むくげ通信総目録は、<https://ksyc.jp/mukuge/tuusinn.html> を参照） ■2021年発行のエッセイ妙？

1. 10月より新企画の朝鮮研究 むくげ通信9号 1971年9月
2. 書評 呉林俊著『日本語と朝鮮人』 むくげ通信9号 1971年9月
3. 「民族教育」②朝鮮における日帝植民地時代の「同化教育」むくげ通信10号 1971年12月
4. 朝鮮をめぐるニュース 1971.11～72.2 むくげ通信11号 1972.2、飛田『時事エッセイ』収録
5. 朝鮮をめぐるニュース 1972.2～4 むくげ通信12号 1972.5、飛田『時事エッセイ』収録

6. 19720701 神戸救援ニュース33号／飛田ビラ逮捕、ガリ版、報告記事
7. 特集 <日韓会談>①「日韓会談」の背景と成立までの過程 むくげ通信 1972年8月
8. 12月の研究会報告 「土地調査事業」と「産米増殖計画」について むくげ通信16号 1973年1月
9. ■寸評 幼稚園児の唄 むくげ通信17号 1973年2月
10. 映画批評 映画「花を売る乙女」を観て むくげ通信18号 1973年5月
11. 大学と朝鮮と 小甲蔬(園芸農学科同人誌) 1号 1973年7月
12. 研究報告 関東大震災と朝鮮人虐殺②強制収容 むくげ通信21号 1973年11月
13. 雑誌紹介 季刊「まだん」 むくげ通信23号 1974年3月
14. 人物朝鮮史(4) 崔 益 鉉(チエ イク ヒョン) むくげ通信24号 1974年5月
15. 日本人の朝鮮観 小甲蔬(園芸農学科同人誌) 3号 1974年6月
16. 申京煥氏の強制送還を許してはならない むくげ通信25号 1974.7 、飛田『時事エッセイ』収録
17. 寸評 大阪外大教授阿部発言について むくげ通信25号 1974.7
18. 寸評 朝鮮語は「音」か?! むくげ通信25号 1974.7 、飛田『時事エッセイ』収録
19. 「狙撃事件」以降の動き むくげ通信26号 1974.9、飛田『時事エッセイ』収録
20. 特集 <東亜日報>②東亜激励広告一ヶ月の分析 むくげ通信29号 1975年3月
21. 「外国人登録法」一部改悪について むくげ通信30号 1975.5 、飛田『時事エッセイ』収録
22. 孫振斗さんの勝利 むくげ通信31号 1975.7 <https://ksyc.jp/mukuge/031/hida-sonsinntou.pdf> 、飛田『時事エッセイ』収録
23. <サークル紹介>むくげの会 季刊三千里3号 1975.8 、飛田『時事エッセイ』収録
24. 書評 『被爆韓国人』 むくげ通信32号 1975年9月
25. 「大寿堂鑑定書」と在日朝鮮人の法的地位 むくげ通信33号 (1975年11月30日)
26. 特集 <むくげの会五年間を振りかえって>⑦考えていること むくげ通信34号 1976年1月
27. 人物朝鮮史(14) 孫秉熙(ソン ビョン ヒ) むくげ通信36号 1976年5月
28. 研究報告 在日朝鮮人の歴史(2) —GHQと在日朝鮮人の法的地位— むくげ通信37号 (1976年7月18日) <https://ksyc.jp/mukuge/037/hida.pdf>
29. 人物朝鮮史(16) 湖岩・文一平 むくげ通信38号 1976年9月
30. ■隨想 「同化傾向」について考えること むくげ通信39号 1976年11月
31. ■澄んだ目で(いま「連帶」を考える<特集>；連帶を考える) 朝鮮研究(通号168) 1977-07 p.p37~39
32. うた 우리의 소원／私たちの願い むくげ通信41号 1977.3 、飛田『時事エッセイ』収録
33. 書評 『申京煥裁判証言集・第1集』 むくげ通信42号 1977年5月
34. むくげの会の近況報告 むくげ通信42号 1977年5月 <https://ksyc.jp/mukuge/042/hida.pdf>
35. 朝鮮語講座の近況報告 むくげ通信43号 1977年11月 <https://ksyc.jp/mukuge/043/hida.pdf>
36. 在日朝鮮人の在留券をめぐって—サンフォランシスコ条約調印～発効 むくげ通信45号 (1977年11月27日) <https://ksyc.jp/mukuge/045/hida-GHQ.pdf>
37. 時事雑感 「朝鮮学校襲撃の歌」 むくげ通信46号 1978年1月 、飛田『時事エッセイ』収録
38. むくげの会の近況 学芸会のことなど むくげ通信47号 1978年3月
39. アンポ社へ閉店に際して アンポこうべ100号 1978.4.16 、飛田『時事エッセイ』収録
40. 資料 「神戸朝鮮人学校事件」関係文献案内 むくげ通信50号 1978年9月
41. むくげの会のことなど 『季刊三千里』一六号、一九七八年一一月、飛田『現場』に収録
42. 初めての韓国 『むくげ通信』四八号(一九七八年五月)、四九号(七月)、五〇号(九月)、五一号(一一月)、48号 <https://ksyc.jp/mukuge/048/hida.pdf> 、49号 <https://ksyc.jp/mukuge/049/hida.pdf> 、50号

<https://ksyc.jp/mukuge/050/hida.pdf>、51号、<https://ksyc.jp/mukuge/051/hida.pdf> 飛田『現場』に収

43. 時評 マクリーン判決と入管局 むくげ通信52号 1979.1 、飛田『時事エッセイ』収録
44. むくげの会・研究会の記録 むくげ通信53号 1979年3月
45. 研究報告 朝鮮農民社・覚え書 むくげ通信54号 (1979年5月27日)
46. Y H貿易事件の波紋 『むくげ通信』五六号、一九七九年九月、<https://ksyc.jp/mukuge/056/hida-yhjikenn.pdf> 飛田『現場』に収録
47. うた 오! 자유／おお自由 むくげ通信57号 1979.11 、飛田『時事エッセイ』収録
48. 時評 朴射殺後の韓国政局 むくげ通信59号 1980.3 、飛田『時事エッセイ』収録
49. 時評 光州の民衆蜂起 むくげ通信60号 1980.5 ●●未収録?
50. 書評 『朝鮮終戦記』 むくげ通信61号 1980年9月
51. サンフランシスコ平和条約と在日朝鮮人 『在日朝鮮人史研究』六号、一九八〇年六月、飛田『心に刻み』に収録
52. 書評 『赤道下の朝鮮人叛乱』 むくげ通信62号 1980年9月
53. 研究報告 1930年代赤色農民組合・定平農民組合の活動 むくげ通信63号 1980年11月
54. 「日帝下の自主的農業協同組合・朝鮮農民社の展開」、姜在彦・飯沼二郎編『近代朝鮮の社会と思想』未来社、1981年、飛田『心に刻み』に収録
55. 時評 入管令改正をめぐって—「永住許可」を中心に— むくげ通信65号 1981.3 、飛田『時事エッセイ』収録
56. むくげの会近況報告 むくげ通信65号 1981.3
57. 時評 続・入管令改正をめぐって一二つの改正案の内容と動向— むくげ通信66号 1981.5 、飛田『時事エッセイ』収録
58. 時評 続々・入管令改正をめぐって—難民条約と在日朝鮮人（その1）— むくげ通信67号 1981.7 、飛田『時事エッセイ』収録
59. 「日帝下の赤色農民組合運動」（『季刊三千里』27号、1981年8月）
60. 時評 入管令改正をめぐって4—難民条約と在日朝鮮人（その2）— むくげ通信68号 1981.9 、飛田『時事エッセイ』収録
61. 「入管令改正と在日朝鮮人の在留権」（『季刊三千里』28号、1981年11月）
62. 「在日朝鮮人の退去強制問題を考えるシンポジウム」に参加して むくげ通信69号 1981.11 、飛田『時事エッセイ』収録
63. 「入管令改正と在日朝鮮人の在留権」（『季刊三千里』28号、1981/11） 、飛田『心に刻み』に収録
64. 史片(35) 関釜連絡線 むくげ通信70号 1982年号1月
65. 「定平農民組合の展開—九三〇年代の赤色農民組合の一事例」（姜在彦・飯沼二郎編『植民地期朝鮮の社会と抵抗』、未来社、1982年、この本の韓国語版は、1983年11月、白山書房） 、飛田『農民運動』に収録
66. 「永興農民組合の展開—九三〇年代の赤色農民組合の一事例」（むくげの会編『朝鮮一九三〇年代研究』三一書房、1982年） 、飛田『農民運動』に収録（この論文の韓国語は、姜在彦・飯沼二郎編『植民地期朝鮮の社会と抵抗』未来社1982年の韓国語版（1983年11月、白山書房）および韓国語の浅田喬二ほか『抗日農民運動研究』（1984年5月、トンニヨック）に収録されている）
67. むくげの会の近況報告 むくげ通信71号 1982年3月
68. 書評 金慶海・梁永厚・洪祥進『在日朝鮮人の民族教育』 むくげ通信72号 1982年5月
<https://ksyc.jp/mukuge/056/hida-yhjikenn.pdf>
69. 研究報告 戦後の外国人登録制度と指紋制度 むくげ通信73号 (1982年7月18日)

70. むくげの会の近況 むくげ通信75号 1982年11月
71. 史片(42) 朝鮮農民総同盟 むくげ通信77号 1983年3月
72. 咸鏡北道鏡城における光州学生運動の影響、むくげ通信78号、1983年5月29日、むくげの会編『植民地下朝鮮・光州学生運動の研究』(1990年11月)に収録。
73. 「在日朝鮮人と指紋押捺制度の導入をめぐってー」(『季刊三千里』35号、1983年8月、『指紋制度を問うー歴史・実態・闘いの歴史』神戸学生青年センター出版部、1987年7月、再録)、飛田『心に刻み』に収録
74. 韓国を訪ねてー仮面劇・光州 『むくげ通信』八〇号、一九八三年九月、 <https://ksyc.jp/mukuge/080/hida-URM2nd.pdf> 飛田『現場』に収録
75. 第二次光州学生運動(1943年) むくげ通信81号(1983年11月27日)、むくげの会編『植民地下朝鮮・光州学生運動の研究』(1990年11月)に収録。
76. 槿城(62) タルチュム(仮面劇) むくげ通信83号 1984年3月
77. 1984/4/28-5/1、済州島朝鮮語講座ほか森地金俊江漢攀山登山、むくげ通信84号、1984.5 <https://ksyc.jp/mukuge/084/hida.pdf> 飛田『旅行』に収録
78. 「金海農民組合の展開ー一九三〇年代の赤色農民組合の一事例」(『朝鮮民族運動史研究』1号、1984年6月)、飛田『農民運動』に収録
79. 研究報告 明川農民組合の活動 むくげ通信85号(1984年7月22日)
80. むくげの会 きのう、きょう、あす むくげ通信87号 1984年11月
81. 「在日朝鮮人の法的地位」『講座・差別と人権④ 民族』(雄山閣、1985年)
82. 人物朝鮮史(63) 高 景 欽(コ ギョン フム) むくげ通信88号 1985年1月
83. 時評 指紋押捺拒否運動 むくげ通信89号 1985.3 <https://ksyc.jp/mukuge/089/hida.pdf>、飛田『時事エッセイ』収録
84. 時評 正念場を迎えた指紋押捺制度撤廃運動 むくげ通信90号 1985.5 <https://ksyc.jp/mukuge/090/hida.pdf>、飛田『時事エッセイ』収録
85. 時評 大量切替期に入った指紋押捺拒否運動 むくげ通信91号 1985.7 <https://ksyc.jp/mukuge/091/hida.pdf>、飛田『時事エッセイ』収録
86. 研究報告 GHQ下の在日朝鮮人強制送還 むくげ通信92号 1985年9月
87. 史片(58) 万宝山事件 むくげ通信94号 1986年1月
88. ノレ・うた(52) 「コスモスを歌う」 むくげ通信95号 1986年3月
89. 書評 遠藤 公男『アリランの青い鳥』 むくげ通信96号 1986年5月
90. 神戸の現場から キリスト教在日韓国朝鮮人問題活動センター『でいい』一四号、一九八六年八月、飛田『現場』に収録
91. 19860926 朝日新聞/飛田雄一投稿、矛盾さらした「指紋」改正
92. 史片(61) 秘密登山結社「白嶺会」 むくげ通信97号 1986年7月
93. 新聞投稿 矛盾さらした「指紋」改正 朝日新聞 1986.9.26 、飛田『時事エッセイ』収録、飛田『時事エッセイ』収録
94. 槿城(75)朝鮮の胡麻(黒胡麻・えごま) むくげ通信98号 1986年9月 <https://ksyc.jp/mukuge/098/hida.pdf>
95. むくげの会近況報告 むくげ通信99号 1986年11月
96. 「GHQ占領下の在日朝鮮人の強制送還」(『季刊三千里』48号、1986/11)、飛田『心に刻み』に収録
97. ■こんなことでいいのかな? むくげ通信100号 1987年1月 <https://ksyc.jp/mukuge/100/hida-100gou.pdf>
98. 共に生きる社会をめざして、「ことば①~⑧」①共に生きる社会、一九八七年一月二四日、②「群れ」の消滅、

- 三月七日、③人権としての「指紋」、四月一八日、④小尻記者の人権感覚、五月三〇日、⑤ライフスタイル総点検、七月一一日、⑥暴力団追放に思う、八月二二日、⑦「帰化=マヨネーズ論」、一〇月三日、⑧足もとの歴史、一一月、一四日、飛田『現場』に収録
99. 1961年・武庫川河川敷の強制代執行 『むくげ通信』102号、一九八七年五月、飛田『心に刻み』に収録
100. 資料 情報公開をめぐって 『むくげ通信』一〇二号、一九八七年五月
101. むくげの会の近況報告 むくげ通信106号 1988年1月
102. ■サラダボールの日本社会を ('87アジア人権フォーラム；第2分科会 少数者と人権) 月刊社会党 / 日本社会党中央本部機関紙局 [編] (通号 385) 1988-02 p.p65~69
103. 訪問記 錦繡文庫 むくげ通信 1988年3月、ホームページになし
104. 「ハングルと私」、ひょうご芸術文化センター『発言 '88』別冊、1988年4月25日
105. 時評 コラムには何を書いてもいいのか むくげ通信108号 1988.5 、飛田『時事エッセイ』収録
106. 1988/7/12-21、『中国の朝鮮族』出版で延辺へ、むくげ109号、110号、1988.7 飛田『旅行』に収録
107. 19880830 吉林新聞／飛田雄一 <https://ksyc.jp/mukuge/shinbun/19880830kitsurin-mukugenokai.pdf>
108. 権域(85) 白頭山 むくげ通信111号 1988年11月 ホームページになし
109. 「明川農民組合の展開—一九三〇年代の赤色農民組合の一事例」 (『朝鮮民族運動史研究』5号、1988年12月)、飛田『朝鮮農民運動』に収録
110. 天皇の死と朝鮮 『むくげ通信』一一二号、一九八九年一月。 <https://ksyc.jp/mukuge/112/hida.pdf> むくげの会『新コリア百科—歴史・社会・経済・文化』明石書店、二〇〇一年二月に再録、飛田『現場』に収録、飛田『現場』に収録
111. 時評 入管法改「正」案と在日朝鮮人 むくげ通信114号 1989.5 、飛田『時事エッセイ』収録
112. 「追悼 梶村秀樹先生」 むくげ通信115号 1989年7月 ホームページになし
113. 「昭和の皇民化政策」 (『季刊青丘』1号、1989年8月) 飛田『現場』に収録
114. サラム・サラム(3) 愈澄子さん むくげ通信116号 1989年9月 ホームページになし
115. 隨想 うけた話 むくげ通信117号 1989.11 、飛田『時事エッセイ』収録
116. むくげ友誌 (5) かささぎ通信 むくげ通信118号 1990年1月 ホームページになし
117. サラム・サラム(6) リピートの会・黄光男さん むくげ通信119号 1990年3月 ホームページになし
118. 「むくげの会」と梶村先生、19900530 梶村秀樹先生追悼と遺文、飛田雄一
119. 天皇の「お言葉」問題、その後 『むくげ通信』一二一号、一九九〇年七月。むくげの会『新コリア百科—歴史・社会・経済・文化』明石書店、二〇〇一年二月に再録、飛田『現場』に収録
120. 19910415 友を訪ねて三千里 (上) むくげ120号 <https://ksyc.jp/mukuge/120/hida-tomowotazunete1.pdf> 、同下、むくげ122号、1990.7 <https://ksyc.jp/mukuge/122/hida-tomowotazunete2.pdf> 飛田『旅行』に収録
121. 「11.11 戦争責任を考える集いinマツシロ」に参加して、『むくげ通信』123号、1990.11、<https://ksyc.jp/mukuge/123/hida.pdf> 飛田『再論強制連行』に収録
122. 19901210 朝日人物辞典／韓哲曇、飛田雄一
123. 19901230 「わがリサイクル」、『季刊食』第10巻第10号、発行・「食」資料室
124. <飛田『再論強制連行』に収録せず>●●「第2回朝鮮人・中国人強制連行・強制労働を考える全国交流集会」の準備進む、『むくげ通信』125号、1991.3 <https://ksyc.jp/mukuge/125/hida.pdf>
125. 「在日韓国・朝鮮人--歴史と展望」姜在彦,金東勲 花園大学研究紀要 / 花園大学文学部 編 (通号 23) 1991-03 p.166~169
126. 訪問記 (6) 「ウリドウレチップ」を訪ねて むくげ通信126号 1991年5月 ホームページになし

127. 神戸大学農場に朝鮮人強制連行跡地を訪ねて—兵庫県加西市・鶴野飛行場—、『むくげ通信』127号、1991.7、
<https://ksyc.jp/mukuge/127/hida.pdf> 飛田『再論強制連行』に収録
128. 在ソ朝鮮人歴史学者・金ゲルマンさんを迎えて むくげ通信128号 1991年9月、ホームページになし
129. 時評 生活保護の根本を問う—ゴドワインさんのケースについて考える— むくげ通信129号 1991.11 、飛田『時事エッセイ』収録、ホームページになし
130. 朝鮮人・中国人「強制連行」調査活動はいま ほんミニケート54号 1991.12 、飛田『時事エッセイ』収録
131. 書評『知っていますか?在日韓国・朝鮮人問題一問一答』 / 飛田雄一 / 60~62 (0032.jp2) 1991年12月 ひょうご部落解放
132. 書評／李仁夏『自分を愛するように「生活の座」から、み言に聞く』 『教師の友』一九九二年一月、飛田『現場』に収録
133. 時評 生活保護の根本を問う その② むくげ通信130号 1992年1月、ホームページになし
134. 「在日朝鮮人・滞日外国人と生活保護」 (『むくげ通信』131号、1992年3月)
<https://ksyc.jp/mukuge/131/hida-godo.pdf>
135. 19920427 でいい／飛田雄一、最低限度の生活・・・
136. 19920500 「記録」、飛田雄一、ゴドワイン裁判
137. 訪問記「北海道開拓記念館・防衛研究所図書館」、『むくげ通信』132号、1992.5、
<https://ksyc.jp/mukuge/132/hida.pdf> 飛田『再論強制連行』に収録
138. 共に生きる社会をめざして「神戸から①～⑤」、日本基督教団『働く人』、①在日外国人への生活保護、一九九二年一〇月一日、②コンポストから、一一月一日、③異邦人、一二月一日、④神戸市立外国人墓地、一九九三年一月一日、⑤ 金〇、金×、二月一日、飛田『現場』に収録
139. <飛田『再論強制連行』に収録せず? ? ? >日本各地の強制連行、内海愛子・越田稜・田中宏・飛田雄一監修『戦後補償ハンドブック』、梨の木舎、1992.8 (無)
140. 19920800 地方自治ジャーナル／飛田雄一ゴドワイン裁判
141. 時評 生活保護の根本を問う その②—住民監査請求、その後— むくげ通信130号 1992.1 、飛田『時事エッセイ』収録
142. 19920500 「記録」、飛田雄一、ゴドワイン裁判
143. ここに、何か書いている、婦人新報 6月(1101) 日本キリスト教婦人矯風会 編 日本キリスト教婦人矯風会 1992-06
144. 癒されない過去—従軍慰安婦問題関連書籍紹介— ほんミニケート62号 1992.7 、飛田『時事エッセイ』収録
145. サラム・サラム(18) 朴貞愛さん むくげ通信133号 1992年7月、ホームページになし
146. 19920800 地方自治ジャーナル／飛田雄一ゴドワイン裁判
147. 訪問記 大宅壮一文庫 むくげ通信34号 1992年9月、ホームページになし
148. 書名／『はたちのセンター、新たな出会い—(財)神戸学生青年センター20周年記念誌—』編集・発行／神戸学生青年センター 発行年／1992年9月 定価／1000円
149. サラム・サラム(19) 金文学さん／ポリス朴さん むくげ通信135号 1992年11月、ホームページになし
150. むくげの会の近況報告 むくげ通信136号 1993年1月 ホームページになし
151. 二十周年を迎えた(財)神戸学生青年センター / 飛田雄一 / 94~95 (0049.jp2) ひょうご部落解放 1993-01
152. 書評 李泰昊著・青柳純一訳『鴨緑江の冬』むくげ通信137号、1993年3月、ホームページになし
153. 19930524 飛田、講演録2本、教団東中国教区、
154. すべての外国人に生存権を--ゴドワイン裁判が始まっている(異文化が共存する自治<特集>) 月刊自治研 /

- 155.解題「前田一」、『十五年戦争重要文献シリーズ第12集、特殊労務者の労務管理』飛田雄一 編・解説』（1993年5月、飛田解説、不二出版）、飛田『心に刻み』に収録
- 156.ノンフィクションが創るフィクションの世界 小林千登勢『お星さまのレール』むくげ通信139号、1993年7月、ホームページになし
- 157.真の国際的共生への道—戦後責任を果たすために今なすべきこと、JYVA（日本青年奉仕協会）『JYVA LETTER』14号、1993.10.1（無）、飛田『再論強制連行』に収録
- 158.日本の戦争犯罪の真相を求め、広がる調査研究活動—戦後補償問題・関連書籍紹介— ほんミニケート81号 1993.12 36、飛田『時事エッセイ』収録
- 159.サラム・サラム(23) 作家・鄭承博さん むくげ通信 142号 1994年1月、
<https://ksyc.jp/mukuge/142/hida.pdf>
- 160.「<共同研究>朝鮮人戦時労働に関する基礎研究」（1994年3月、韓国文化振興財団、『青丘学術論集』4号／金英達、高柳俊男、外村大との共著）
- 161.時評「学徒出陣50年」をめぐって むくげ通信143号 1994.3 <https://ksyc.jp/mukuge/143/hida.pdf>、飛田『時事エッセイ』収録
- 162.（飛田発題）外国人労働者と教会、『実践神学の会』七号、一九九四年三月三日、飛田『現場』に収録
- 163.「在日朝鮮人」（『臨時増刊世界—キーワード戦後日本政治50年』594号、岩波書店、1994年4月）、飛田『心に刻み』に収録
- 164.1994/5/17-20、神戸電鉄敷設工事で犠牲になった朝鮮人労働者の遺族を訪ねる韓国への旅、むくげ144号、1994.5 <https://ksyc.jp/mukuge/144/hida.pdf> 飛田『旅行』に収録
- 165.二十周年を迎えた（財）神戸学生青年センター / 飛田雄一 / 94~95 頁(0049.jp2) ひょうご部落解放
- 166.ゴドワイン裁判にみる在日外国人の生存権 / 飛田雄一 / 22~26 頁(0013.jp2) ひょうご部落解放 1994-05
- 167.朝鮮人強制連行と「宗教教師勤労労働員令」 『むくげ通信』一四五号、一九九四年七月、
<https://ksyc.jp/mukuge/145/hida.pdf> 飛田『現場』に収録
- 168.「在日外国人の人権をめぐる状況と行政の課題」（『社会主义』370号、社会主义協会、1994年9月）
- 169.第5回朝鮮人・中国人強制連行・強制労働を考える全国交流集会に参加して、『むくげ通信』146号、1994.9、
<https://ksyc.jp/mukuge/146/hida.pdf> 飛田『再論強制連行』に収録
- 170.1994.10.18 張壱淳さん5月死亡その年の訪問、むくげ147号、1994.11 <https://ksyc.jp/mukuge/147/hidatyansilun-issiki.pdf> 飛田『旅行』に収録
- 171.「<研究ノート>日帝下の朝鮮小作争議の統計をめぐって」（『朝鮮民族運動史研究』10号、1994年12月）
- 172.1995.1.10 公的扶助研究特集4号／飛田雄一（ゴドワイン裁判）、滞日外国人と生活保護 / 飛田雄一 / 21~24 (0012.jp2)
- 173.「阪神大震災と外国人—オーバーステイの外国人の治療費・弔慰金をめぐって」（『むくげ通信』148/149合併号、95年3月） <https://ksyc.jp/mukuge/148-9/hida-jisin1.pdf>
- 174.地中の怪獣が私の足を（『むくげ通信』148/149合併号、95年3月）
- 175.続・阪神大震災と外国人—災害弔慰金支払い問題を中心に—（『むくげ通信』150号、95年5月）
<https://ksyc.jp/mukuge/150/hida-jisin2.pdf>
- 176.「阪神大震災と滞日外国人」（『季刊青丘』22号、1995年5月）
- 177.続々・阪神大震災と外国人（『むくげ通信』151号、95年7月） <https://ksyc.jp/mukuge/151/hida-jisin3.pdf>

- 178.留・就学生と震災 震災で芽生えた国際交流 神戸学生青年センターの取り組みから / 神戸学生青年センター / 37~41 (0020.jp2) ひょうと部落解放 1995年7月
- 179.地震が生んだ国際交流、日本基督教団神戸教会『神戸教会々報』特別号、一九九五年七月一六日、飛田『現場』に収録
- 180.書評 『分断時代の被告たち』『ある弁護士の肖像』 むくげ通信152号、1995年9月、
- 181.サラム・サラム(28) 作家 金真須美さん むくげ通信153号、1995年11月、
- 182.阪神大震災—外国人との共生 日本基督教団『教師の友』付録、一九九六年一月、飛田『現場』に収録
- 183.『神戸黒書—阪神大震災と神戸市政』(労働旬報社、19960117)に小論「外国人の人権」
- 184.むくげの会 95年から96年へ むくげ通信154号、1996年1月、
- 185.くも膜下出血で緊急入院したスリランカ人就学生ゴドウインさんの生活保護適用を求める裁判 / 飛田雄一 / 43~46 (0023.jp2) 1996年1月 公的扶助研究
- 186.「外国人の支援はどう行われたか」(『月刊自治研』38巻437号、96年2月)
- 187.■隨想 「住民」について考える むくげ通信155号、1996年3月、
- 188.■阪神大震災を思う—地震以前のことが地震以後に起こっている— グローブ5号 1996年春号 、飛田『時事エッセイ』収録
- 189.サラム・サラム(29) 甲南大学経済学部教授の高龍秀 むくげ通信156号、1996年5月、
- 190.ここに何かかいてある、→ 外国人の生存権を求めて—ゴドウイン訴訟 / 飛田雄一 / p32~33 (0018.jp2)法と民主主義(8/9)(311) 日本民主法律家協会 日本民主法律家協会 1996-09、法と民主主義(8/9)(311)雑誌 日本民主法律家協会、1996-09 <Z2-532>/ 林健一郎 / p30~31 (0017.jp2)外国人の生存権を求めて—ゴドウイン訴訟 / 飛田雄一 / p32~33 (0018.jp2)沖縄の県民投票に思う / 長谷川正安 / (0002.jp)
- 191.NGO外国人救援ネットの再発足 / 飛田雄一 / 41~46 (0022.jp2) 1996年9月、ひょうご部落解放
- 192.研究レポート/CD-ROM版・判例データベースと 解放後の在日朝鮮人をめぐる裁判 むくげ通信158号 (1996年9月29日) <https://ksyc.jp/mukuge/158/hida.htm>
- 193.1996/6/18~23、祭りツアー①江陵端午祭、学生センターニュース31号、1996.9. 飛田『旅行』に収録
- 194.書評 鄭鴻永『歌劇の街のもうひとつの歴史—宝塚と朝鮮人』 (『むくげ通信』97年1月) <https://ksyc.jp/mukuge/160/hida.html>
- 195.書評 <未完>年表・日本と朝鮮のキリスト教100年 (『むくげ通信』97年3月) <https://ksyc.jp/mukuge/161/hida-yawatahonn.pdf> 、飛田『現場』に収録
- 196.19970411 熊野弁護士、阪神大震災と国際人権規約、飛田小論
- 197.隨想 腹立ちの3連発+1 むくげ通信162号 1997.5 <https://ksyc.jp/mukuge/162/hida.pdf> 、飛田『時事エッセイ』収録
- 198.「阪神大震災、その後」(バプテスト連盟の機関紙に、97年6月)
- 199.書評『住友別子銅山で<朴順童>が死んだ』(『むくげ通信』163号、97年7月) <https://ksyc.jp/mukuge/163/hida.html>
- 200.「神戸学生青年センター25年の活動」(『日本の社会教育実践—第37回社会教育研究全国集会資料集』97年8月)
- 201.南京①「南京大虐殺の現場を訪ねる旅」 (『むくげ通信』164号、97年9月) <https://ksyc.jp/mukuge/164/hida.html>、飛田『旅行』に収録
- 202.「阪神教育闘争犠牲者の遺族を韓国に訪ねる」 (『むくげ通信』97年11月) <https://ksyc.jp/mukuge/165/hida.pdf> ホームページにテキストもあり
- 203.1997/10/--、424の遺族を韓国に訪問、むくげ165号、1997.11飛田『旅行』に収録

204. 「新春合宿、フィールドワークのことなど」 (『むくげ通信』 98年1月)
<https://ksyc.jp/mukuge/166/hida.html>
205. 「神戸市立外国人墓地に朝鮮ゆかりの宣教師墓地を訪ねる」 (『むくげ通信』 98年3月)
<https://ksyc.jp/mukuge/167/hida-ga-bot.pdf>
206. 阪神教育闘争犠牲者・朴柱範さんの遺族と解放前の「本庄村」 (現神戸市東灘区) を訪ねる むくげ通信168号、1998年5月、<https://ksyc.jp/mukuge/168/hida-honnjiyoumura.pdf>、ホームページにテキストあり
207. 19980608韓哲暉氏追悼文、朝史研用、掲載は論文集ではなくて、研究会会報か?
208. ■19980615日本語協議会原稿、「日本語人」の教養とは?
209. L・L・ヤングと在日朝鮮人キリスト者 『むくげ通信』一六九号、一九九八年七月。
<https://ksyc.jp/mukuge/169/hida.pdf> むくげの会『新コリア百科—歴史・社会・経済・文化』明石書店、二〇〇一年二月に再録、飛田『現場』に収録
210. 最高裁は要塞だった一指紋押捺不当逮捕「国賠訴訟」参加の記一 むくげ通信169号 1998.7
<https://ksyc.jp/mukuge/169/hida02.htm>、飛田『時事エッセイ』収録
211. 阪神教育闘争50周年記念事業開催 / 飛田雄一 / 80~81(0042.jp2) 1998年7月 ひょうご部落解放
212. 飛田雄一 地域社会と市民の大学 巨大情報システムを考える会編『〈知〉の植民地支配（変貌する大学IV）』（社会評論社） 1998年 9月 pp.132~137 09一般
213. ■19980801~毎日新聞エッセイ「歴史のなかの“いま”」（全6回、1998年8月1日から1999年2月20日）
214. 1998/4/26~30、祭りツアー③珍島靈登祭、センターニュース37号、1998.9 飛田『旅行』に収録
215. 19981116ロシナンテ、
216. ■19981121 毎日新聞／飛田エッセイ、外国人墓地、徐正敏
217. 「被災外国人学生への救援・支援活動とネットワーク／(2)神戸学生青年センター」 (『阪神・淡路大震災における被災外国人学生』 99年6月、ナカニシヤ出版)
218. 時評 入管法、外登法の改訂をめぐって むくげ通信172号 1999.1 、<https://ksyc.jp/mukuge/172/hida.htm> 飛田『時事エッセイ』収録
219. 書評 竹国友康『ある日韓歴史の旅—鎮海と桜』 むくげ通信174号、1999年5月、
<https://ksyc.jp/mukuge/174/hida.html>
220. 1999/7/8~12、民草ツアー①東学の道、センターニュース40号、1999.9 飛田『旅行』に収録、19990913 学生センターニュース40号、飛田東学ツアー
221. 「第10回朝鮮人・中国人強制連行・強制労働を考える全国交流集会 in きゅうしゅう」参加の記 (『在日朝鮮人史研究』 29号、1999年10月)
222. 研究レポート「戦時下神戸港における朝鮮人・中国人強制連行」覚え書き (『むくげ通信』 177号、1999年11月) <https://ksyc.jp/mukuge/177/hidaport.html>
223. 「鄭鴻永さんの死を悼む」 (『むくげ通信』 178号、2000年1月) <https://ksyc.jp/mukuge/178/hidatyonnhoannyonn.pdf>
224. 震災5年後の神戸—そしてなぜか「神戸空港」、『働く人』二〇〇〇年一月一日、飛田『現場』に収録
225. 2000/5/4~8、民草ツアー②神戸学生青年センター韓国「民草」ツアー第2弾／済州島「4・3ハルラ山」、むくげ180号、2000.5、<https://ksyc.jp/mukuge/180/hida.pdf> 飛田『旅行』に収録、センターニュースにも短い記事
226. <研究動向>朝鮮人強制連行調査の現況について—「百萬人の身世打令」編集委員会編『百萬人の身世打令—朝鮮人強制連行・強制労働の「恨」』 (東方出版、1999年12月) に触れながら— (朝鮮史研究会会報1

40号、2000年6月30日)

227. ■20000101 キリスト新聞／震災5年、飛田雄一
228. 金英達さんの思い出 金英達さんとの出会い 飛田 雄一ほか、むくげ通信181号 2000年7月、
<https://ksyc.jp/mukuge/181/omoide.html>
229. 2000/8/13-19、南京④旅行記「南京再訪、そして731&安重根のハルビンへ」むくげ182号、2000/9
<https://ksyc.jp/mukuge/182/hida182.pdf> 飛田『旅行』に収録
230. 戦争遺跡保存の動き（特集 空襲・戦災を記録する会 第30回全国連絡会議神戸大会）歴史と神戸 39(5) (通号222) 2000-10 p.22-24
231. ■ああ、むくげ30年 むくげ通信184号、2001年1月、ホームページなし
232. 「朝鮮人強制連行実数カウントプロジェクト」の提案、『むくげ通信』185号、2001.3、
<https://ksyc.jp/mukuge/185/hida.htm> 飛田『再論強制連行』に収録
233. 「神戸の外国人墓地」ほか（『兵庫のなかの朝鮮—歩いて知る朝鮮と日本の歴史』明石書店、2001年5月、所収）
234. 在日の残された課題、「参政権」vs「戦後補償」=無関係 むくげ通信186号 2001.5、
<https://ksyc.jp/mukuge/186/hida.htm> 飛田『時事エッセイ』収録
235. 「朝鮮人強制連行」問題と日朝交渉【飛田雄一】、『日朝条約への市民提言—歴史的責任の清算と平和のために』石坂 浩一著、田中 宏著、山田 昭次著、明石書店、明石ブックレット、2001.6
236. 2001/6/15~22、朝鮮民主主義人民共和国ツアー、むくげ187号、2001.7 <https://ksyc.jp/mukuge/187/hida.pdf> 飛田『旅行』に収録
237. 2001/8/15 「南京大虐殺への道」を訪ねて、むくげ通信188号、2001.9 <https://ksyc.jp/mukuge/188/hida-nankin.pdf> 飛田『旅行』に収録
238. 山陰線朝鮮人労働者の足跡を訪ねるフィールドワークに参加して むくげ通信189号、2001年11月、
<https://ksyc.jp/mukuge/189/hida.htm>
239. むくげの会の2001年そして新春合宿 むくげ通信190号、2002年1月、
<https://ksyc.jp/mukuge/190/hida.htm>
240. ■20011214 朝日新聞／飛田17歳のころリレーエッセイ「17歳のころ—昔も今も飛んだり跳ねたり」（朝日新聞、2001年12月14日、朝日新聞社編『17歳のころ』（2002年10月）に収録）
241. 人生いろいろありました：鄭承博遺稿・追悼集、鄭承博著、新幹社、2002.2、鄭さんが残してくれたもの（飛田雄一）
242. 20020602 毎日新聞／学生センター30周年、飛田
243. 「難民条約発効より20年—改めて日本の難民政策を考える—」（『むくげ通信』193号、2002/07）
<http://ksyc.jp/mukuge/193/hida.htm> (ワードファイル有)、飛田『心に刻み』に収録
244. 2002/9/27-10/1、祭ツアー④安東仮面劇フェス、むくげ195号、2002.11 <https://ksyc.jp/mukuge/195/hida-anndon.pdf> 飛田『旅行』に収録
245. ■神戸新聞を読んで（神戸新聞、2002年10月、全4回）PDFファイルなし？
246. 祭ツアー安東仮面劇 むくげ通信195号、2002.11、飛田『旅行』に収録
247. ここにまえがき、日本人的一少女 第1部,第2部,第3部,第4部 まつだたえこ [著] [松田妙子] 2003
248. むくげの会新春合宿あれこれ むくげ通信196号 2003年1月、ホームページになし
249. 飛田まえがきと共同研究、朝鮮人強制連行の研究（金英達著作集；2)図書 金英達著、金慶海編. 明石書店, 2003.2 <EL75-H9>まえがき/飛田雄一/3凡例//141 「朝鮮人強制連行」—“我が民族史の記憶”のために//172 〈研究ノート〉「朝...//13511 『朝鮮徴兵準備読本』解説//13612 〈共同研究〉朝鮮人戦時動員に関する基礎

- 研究/飛田雄一；金英達；高柳俊男；外村大/151はじめに//151第一章 用語・概念の整理と再構成//
250. ■隨想 韓国人vs日本人、犬の性格vs猫の性格？ むくげ通信197号、2003年3月、ホームページになし
251. 書評／佐々木雅子『ひいらぎの垣根をこえて—ハンセン病療養所の女たち—』 『むくげ通信』一九八号、二〇〇三年五月、<https://ksyc.jp/mukuge/198/hida-hansenn.pdf> 飛田『現場』に収録
252. 東京大学教養学部相關社会科学研究室「被災地救援・復興支援—神戸ボランティア99人の生き方と言葉—」 飛田雄一インタビュー、2003年12月
253. 在日コリアンの国民年金をめぐる障害年金裁判、そして老齢年金裁判 むくげ通信202号 2004.1、<https://ksyc.jp/mukuge/202/hida-nenkin.pdf> 飛田『時事エッセイ』収録
254. 神戸港強制連行の記録：朝鮮人・中国人そして連合軍捕虜（世界人権問題叢書；48）図書 神戸港における戦時 下朝鮮人・中国人強制連行を調査する会 編. 明石書店, 2004.1 <EL75-H26> 活動の記録 飛田雄一 著
255. 神戸港における戦時下朝鮮人・中国人強制連行を調査する会・活動の記録（『神戸港強制連行の記録—朝鮮人・中国人そして連合国軍捕虜』2004年1月、明石書店、所収）
256. 本の紹介 4冊の地元兵庫に関係する本の書評（1）「近代の朝鮮と兵庫」
<https://ksyc.jp/mukuge/203/hidahyou.htm> 4）「夏は再びやってくる」
<https://ksyc.jp/mukuge/203/hidalane.htm> 以上2冊、むくげ通信203号、2004年3月
257. 書評／ジョン・レイン著・平田典子訳『夏は再びやってくる—戦時下の神戸・元オーストラリア兵捕虜の手記』 『キリスト新聞』二〇〇四年三月二二日、飛田『現場』に収録
258. 飛田のことを伊藤義清さんが、次の本に書いている。教界人物地図：牧師の子供たち・アジアとかかわった人々 図書 伊藤義清 著. 教友社, 2004.4 <HP71-H14>7塩沢美代子//208平田哲//215竹中正夫//223田中義信//228藏田雅彦//231韓哲曦・飛田雄一//238小柳伸顕・李清一//241桑原重夫//243吉松繁//246戒能恵子//250横田勲//2
259. 20040501 ウオロ（大阪ボランティア協会）／飛田ボランティア初体験、取材記事
260. 2004/5/21-24 張 壱 淳 先 生 10 周 忌 の 集 い に 原 州 を 訪 問 し て 、 むくげ 205 号 、 2004.7
<https://ksyc.jp/mukuge/205/hida2.pdf> 飛田『旅行』に収録
261. 20040922 朝日新聞／南京旅順関係飛田投稿、旅順虐殺—過去の「事実」に学び真摯に（朝日新聞2004年9月22日、<http://ksyc.jp/nankin/20040922asahi-nankin-hida.pdf>）飛田『時事エッセイ』収録
262. 2004/8/13-21、南京⑦、南京、大連、旅順、むくげ206号、2004.9 <https://ksyc.jp/mukuge/206/hida.pdf> 飛田『旅行』に収録
263. 韓国障害者グループの日本での抗議活動 むくげ通信207号 2004.11 、<https://ksyc.jp/mukuge/207/hida.pdf>、飛田『時事エッセイ』収録
264. 20041100 名古屋、学生青年センターこえ／飛田N C C - U R M 協議会報告
265. 震災と留学生—被災から生まれた支援の芽（『月刊自治研』543号、2004年12月）
266. 阪神淡路大震災から10年をへて—震災と外国人の関わりから、多文化共生社会を展望する（国立民族学博物館『季刊民俗学』111号、2005年1月） 収録済のはず？
267. 「むくげの会」新春合宿の報告 2005.1.15～16 信長正義・飛田雄一 むくげ通信208号、2005年1月、<https://ksyc.jp/mukuge/208/nobu-hida.pdf>
268. 在日外国人と生活保護～社会保障のゆがみ（地域国際化を考える研修会2004「報告書」、2005年2月）
269. 「NGO神戸外国人救援ネットのこれまでの歩み—ダイジェスト版」ほか（『阪神淡路大震災から10年—外国人と共にくらすまちをめざして—NGO神戸外国人救援ネット10周年記念誌』2005年2月、所収）
270. シンポジウム「震災ボランティアの10年」(<特集>震災ボランティアの10年) 黒田,裕子,島田,誠,飛田,雄一,日比野,純一,菅,磨志保,渥美,公秀 国際ボランティア学会 2005-02-28 <https://dl.ndl.go.jp/view/download/digide>

271. ■阪神・淡路大震災と外国人（兵庫県人権教育研究協議会『ひょうごの人権教育』129号、2005年3月）
272. 韓国強制動員真相究明法、その後（『むくげ通信』210号、2005年5月）
<https://ksyc.jp/mukuge/210/hida.htm>
273. ■「反日デモ」に思う（9+25改憲阻止の会『ニュース』18号、2005年5月）
274. 韓国強制動員真相究明法、その後、『むくげ通信』210号、2005.5（※講演録2とダブル？、これを省く？、いや入れておきたいな。）、飛田『再論強制連行』に収録
275. 再論／1946年強制連行「厚生省名簿」、『むくげ通信』211号、2005.7、
<https://ksyc.jp/mukuge/211/hida.htm> 飛田『再論強制連行』に収録
276. ■まだまだ多い日本人が知るべき事実—中国でのフィールドワークから（朝日21関西スクエア『会報』77号、2005年9月）
277. 2005/8/6-8、第2回日韓歴史研究者共同学会 in 釜山、むくげ212号、2005.9
<https://ksyc.jp/mukuge/212/hida.pdf> 飛田『旅行』に収録
278. 「大倉山公園と青丘文庫」ほか（ひょうご部落解放・人権研究所『人権歴史マップ（神戸編）』2005年9月）
279. 「強制連行真相究明運動の展望」、東北アジアの平和を考える講演会—なぜ今、強制連行の真相究明か—、同会講演録、2005.11（テキスト有）、飛田『再論強制連行』に収録
280. 日韓NCC-URM協議会参加記『むくげ通信』二一三号、二〇〇五年一一月、
<https://ksyc.jp/mukuge/213/hida.pdf> 飛田『現場』に収録
281. 連合国軍捕虜と神戸空襲、神戸空襲を記録する会『神戸大空襲—戦後60年から明日へ—』（神戸新聞総合出版センター、2005年12月）
282. 強制連行真相究明運動の展望 飛礫：労働者の総合誌／『飛礫』編集委員会編（通号50）2006-00 p.105～121
283. むくげの会35周年記念・釜山合宿レポート むくげ通信214号、2006年1月、
<https://ksyc.jp/mukuge/214/hida.pdf> ●●未収録
284. 強制動員真相究明ネットワークの課題、『季刊戦争責任研究』51号、2006年春号、「特集朝鮮人強制連行・強制労働」のイントロ的に・・・。他に、川瀬俊治、竹内康人などが執筆している。
285. 神戸港にみる強制連行（『岩波講座・アジア・太平洋戦争』4巻、2006年2月、安井三吉と共同執筆）
286. 日本のなかのアジア—在日朝鮮人との出会いから／アジアのなかの日本—韓国・北朝鮮・中国への旅から（『共助』599号、2006年3月） <http://blog.goo.ne.jp/hidayuichi/d/20070511>
287. 共助会講演録「アジアの中の日本—韓国・北朝鮮・中国への旅から」、『共助会』599号、2006.3、飛田『旅行』に収録
288. 日本の中のアジア—在日朝鮮人との出会いから 『共助』基督教共助会、二〇〇六年三月、飛田『現場』に収録
289. ■20060724 神戸新聞／飛田雄一外国人支援
290. 書評 山田昭次・古庄正・樋口雄一著『朝鮮人戦時労働動員』（大原社会問題研究所雑誌 573号 2006年8月号） <http://oohara.mt.tama.hosei.ac.jp/oz/573/573-06.pdf>
291. フィールドワークレポート—2006夏・日本軍の作った軍事施設を訪ねる濟州島フィールドワーク（『むくげ通信』218号、2006年9月） <https://ksyc.jp/mukuge/218/hida.pdf> ●●未収録
292. ■20060900 飛田濟州島フィールドワーク／朝日21関西スクエア.files
293. 2006/8/4-6、濟州島日本軍施設FW、むくげ218号、2006.9 飛田『旅行』に収録
294. ■韓国・濟州島に旧日本軍の戦争遺跡を訪ねフィールドワーク（朝日21関西スクエア『会報』87号、2006年9

月)

295. ■外国人学校の多様性—多民族共生教育フォーラムを開催して（世界人権問題研究センター『グローブ』2006 冬号）
296. 20061101 李修京／飛田紹介、『韓国と日本の交流の記憶：日韓の未来を共に築くために』白帝社
297. 本の紹介 デカンショのまちのアリラン--篠山市&朝鮮半島交流史--古代から現代まで 篠山市人権・同和教育研究協議会編集・発行 神戸新聞総合出版センター制作・発売 ひょうご部落解放 124 2007-00 p.125～127
298. ソウル合宿レポート、むくげ通信220号、2007年1月、<https://ksyc.jp/mukuge/220/hida.pdf>
299. 山陰線工事と朝鮮人労働者の足跡を訪ねる旅 むくげ通信 222号、2007年5月、<https://ksyc.jp/mukuge/222/hida.pdf>
300. 朝鮮人強制連行、神岡・高山フィールドワーク—2007年7月28日—、『むくげ通信』224号、2007.9、<https://ksyc.jp/mukuge/224/hida.pdf> 飛田『再論強制連行』に収録
301. 2007/9/6-9、濟州島一周サイクリング1回目2007年7月、ブログに2回、2007.9 飛田『旅行』に収録
302. 亡命者のヒアリング記録、北朝鮮の食糧危機とキリスト教 富坂キリスト教センター 編 新幹社 2008
303. 新聞記事にみる神戸港の強制連行・強制労働—朝鮮人・中国人・連合国軍捕虜—（『むくげ通信』226号、2008年1月）<https://ksyc.jp/mukuge/226/hida.pdf>
304. むくげの会・新春合宿 2008・奈良 むくげ通信227号、2008年3月、<https://ksyc.jp/mukuge/227/simazu-hida.pdf>
305. 読書案内 康玲子「私には浅田先生がいた」とその時代 むくげ通信 228号、2008年5月、<https://ksyc.jp/mukuge/228/hida.pdf>
306. 北朝鮮の食糧危機とキリスト教図書 富坂キリスト教センター 編. 新幹社, 2008.5 <DM171-J19> 亡命者 インタビュー 飛田雄一
307. ■20080601 9+25／神戸港飛田
308. <飛田『再論強制連行』に収録せず>●●神戸港 平和の碑>が完成しました、『むくげ通信』229号、2008.7、<https://ksyc.jp/mukuge/229/hida.pdf>
309. アジア・太平洋戦争時・神戸港における朝鮮人・中国人・連合国軍捕虜の足跡を刻む<神戸港 平和の碑>が完成しました むくげ通信229号 2008.7、飛田『時事エッセイ』収録
310. 神戸港と朝鮮人・中国人・連合国軍捕虜の強制労働（『科学的社会主義』124号、2008年8月）
311. <これは、飛田『再論強制連行』に収録せず？？？>神戸港と朝鮮人・中国人・連合国軍捕虜の強制労働、『科学的社会主義』124号、2008.8（有）
312. 篠山に在日朝鮮人の足跡を訪ねるフィールドワーク、『むくげ通信』230号、2008.9、<https://ksyc.jp/mukuge/230/hida.pdf> 飛田『再論強制連行』に収録
313. 20081000 イオ148号／神戸港、飛田、
314. 2008/ 濟州島・李仲燮美術館がとてもいいです、むくげ 231号、2008.11 <https://ksyc.jp/mukuge/231/hida.pdf> 飛田『旅行』に収録
315. 20081100 むすびめ2000／青丘文庫飛田ほか、迫田さんら主催者による神戸フィールドワーク報告記事
316. 尼崎・中国人強制連行／武庫川改修工事と朝鮮人（ひょうご部落解放・人権研究所『人権歴史マップ（阪神版）』2008年12月）
317. 2008/10/23-27、濟州島一周サイクリング2回目 2008年、むくげ 232号、2009.1 <https://ksyc.jp/mukuge/232/hida.pdf> 飛田『旅行』に収録
318. 歴史を刻む—神戸の外国人（神戸地区県立学校人権・同和教育研究協議会『えんぴつ』31号、2009年2月）
319. 「歴史を刻む—神戸の外国人」、神戸地区県立学校人権・同和教育研究協議会『えんぴつ』31号、2009.2

- (テキスト無)、飛田『再論強制連行』に収録
- 320.2009021、5 AVCアジアの風／飛田古本市インタビュー記事
- 321.<飛田『再論強制連行』に収録せず>●●むくげの会2009新春四国合宿レポート、『むくげ通信』、233号、2009.3、<https://ksyc.jp/mukuge/233/hida.pdf>
- 322.アジア・太平洋戦争下、神戸港における朝鮮人・中国人・連合国軍捕虜の強制連行・強制労働（世界人権問題研究センター『研究紀要』14号、2009/03）（ワードファイル有）、飛田『心に刻み』に収録
- 323.<サムルノリ>生みの親－沈雨晟さんと神戸、むくげ通信234号、2009年5月、<https://ksyc.jp/mukuge/234/hida.pdf>
- 324.20090730 メーレック／神戸フィールドワーク、飛田、金慶海、主催者による報告記事
- 325.「濟州島・城邑民俗村のアジュモニが最高でした」むくげ通信236号、2009年9月、<https://ksyc.jp/mukuge/236/hida.pdf>、●●『旅行』に収録もれ
- 326.「大逆事件、神戸多聞教会」「ゆうさんの自転車／オカリナ・ブログ」<http://blog.goo.ne.jp/hidayuichi/> 二〇〇九年一〇月七日、飛田『現場』に収録
- 327.鶴野飛行場（ひょうご部落解放・人権研究所『人権歴史マップ（播磨編）』2009年11月）
- 328.■東アジア漢字圏—中国・朝鮮・日本における「表記方法」・「漢字発音」に関する歴史的考察 むくげ通信237号、2009年11月、
- 329.20091120 ヒューライツ大阪／濟州島FW飛田
- 330.学習会 韓国併合100年--兵庫の中の100年を振り返る 「韓国併合」一〇〇年と兵庫--「植民地責任」から考える（部落解放研究第31回兵庫県集会報告書）太田 修,飛田 雄一 ひょうご部落解放 139 2010-00 p.128～142
- 331.金慶海さん追悼 むくげ通信238号、2010年1月、<https://ksyc.jp/mukuge/238/hida.pdf>
- 332.浅川伯教・巧兄弟資料館を訪ねて、むくげ通信239号、2010年3月、<https://ksyc.jp/mukuge/239/hida.pdf>
- 333.中央アジアのコリアンを訪ねる旅—ウズベキスタン、カザフスタン（『むくげ通信』240号、2010年5月）、<https://ksyc.jp/mukuge/240/hida.pdf> 飛田『旅行』に収録
- 334.朝鮮学校排除に違和感 每日新聞 2010.5.18 、飛田『時事エッセイ』収録
- 335.20100503 神戸新聞／飛田功労賞
- 336.20100710 関大人権問題研究室、室報、飛田あいさつ
- 337.■20100700 移住連Mネット131、飛田「旅」
- 338.20100818 ハンギョレ新聞、飛田インタビュー
- 339.2010/8/13-20、南京⑭ 延吉に尹東柱の生家などを訪ねて、むくげ242号、<https://ksyc.jp/mukuge/242/hida.pdf> 2010.9 飛田『旅行』に収録
- 340.20101000-12 大阪ボラ協、飛田インタビュー
- 341.■韓国LCC（格安航空会社）研究 むくげ通信243号、2010年11月、<https://ksyc.jp/mukuge/243/hida.pdf>
- 342.「梁泰昊」ほか（『在日コリアン辞典』明石書店、2010年11月、所収）
- 343.■20101115 正平協、機関誌、飛田、強制連行を想う
- 344.■20101201 神戸いのちの電話、飛田、中央アジア
- 345.■むくげの会「2回目の成人式」にぎやかに開催しました むくげ通信244号、2011年1月、<https://ksyc.jp/mukuge/244/hida.pdf>
- 346.<書評>『植民地朝鮮と愛媛の人びと』 むくげ通信245号、2011年3月、<https://ksyc.jp/mukuge/245/hida.pdf>
- 347.■20110601 コリアンマイノリティ研／09号、飛田巻頭言、むくげの会のことなど

- 348.<書評>金賛汀『非常事態宣言—在日朝鮮人を襲った闇1948』 むくげ通信247号、2011年7月、
<https://ksyc.jp/mukuge/247/hida.pdf>
- 349.南京・海南島・上海への旅—神戸・南京をむすぶ会フィールドワーク2011夏—（『むくげ通信』248号、2011年10月）<https://ksyc.jp/mukuge/248/hida.pdf>、飛田『旅行』に収録
- 350.20111015 ハンギョレ新聞／本の紹介、飛田関係
- 351.生野鉱山の強制労働（ひょうご部落解放・人権研究所『人権歴史マップ（丹波版）』2011年10月）、
- 352.語り下ろし市民運動（52～54）ベ平連から韓国・朝鮮・食・農・環境etc（大阪ボランティア協会『Volo（ウォロ）』459号～461号、2010年10月、11月、12月）
- 353.20110901 思想運動／飛田、震災と外国人
- 354.2011/8/12-19、南京⑯南京、海南島、むくげ248号、2011.10 飛田『旅行』に収録
- 355.■？20111107 神戸新聞／飛田、仙台シンポジウム
- 356.「韓日市民団体、過去事問題を共有せねば（韓国語）」、金厚淳『歴史家に聞く』2011年11月、391～412頁、
<https://ksyc.jp/mukuge/20111000rekisikanou-hida.pdf>
- 357.「むくげ通信」250号を迎ることが出来ました— 技術論的ふりかえり むくげ通信250号（2012年1月29日）、<https://ksyc.jp/mukuge/250/hida-kantougenn.pdf>
- 358.濟州島4・3遺骨奉安館、江汀マウルそして北村里記念館—多民族共生人権教育センターフィールドワークから（『むくげ通信』250号、2012年1月）、<https://ksyc.jp/mukuge/250/hida-saosyuutou.pdf>
- 359.20120100-2 メーレック、飛田永住権講演ほか
- 360.読書案内 竹内康人編著『戦時朝鮮人強制労働調査資料集2—名簿・未払い金・動員数・遺骨・過去清算—』むくげ通信251号、2012年3月、<https://ksyc.jp/mukuge/251/hida.pdf>
- 361.2012/3/**むくげの会3月東学全州合宿+漢江サイクル、ソウル漢江・サイクリング むくげ252号、2012.5
<https://ksyc.jp/mukuge/252/hida.pdf> 飛田『旅行』に収録
- 362.「演芸会の大宴会的四冊合同出版記念会、終了賑裏」むくげ通信253号、2012年7月、
<https://ksyc.jp/mukuge/253/hida-syuppan.pdf>
- 363.書評 徐根植『鉄道に響く鉄道工夫アリラン—山陰線工事と朝鮮人労働者—』むくげ通信253号、2012年7月
<https://ksyc.jp/mukuge/253/hida.pdf>
- 364.■20120801 婦人新報／飛田雄一、東北震災と阪神
- 365.20120902 読売新聞／中国人強制連行、飛田講演
- 366.梶村秀樹、堀和生論文に見る「竹島＝独島」問題 むくげ通信254号 2012.9
<https://ksyc.jp/mukuge/254/hida-takesima.pdf>、飛田『時事エッセイ』収録
- 367.山辺健太郎、内藤正中論文に見る「竹島＝独島」問題 むくげ通信255号 2012.11
<https://ksyc.jp/mukuge/255/255yamabe-naitou-hida.pdf>、飛田『時事エッセイ』収録
- 368.兵庫の在日朝鮮人史研究を再スタートさせましょう、『むくげ通信』256号、2013.1、
<https://ksyc.jp/mukuge/256/hida-hyogo.pdf> 飛田『再論強制連行』に収録
- 369.「東アジアキリスト教交流史研究会」が始まりました むくげ通信257号 2013.3
<https://ksyc.jp/mukuge/257/hida-higasiajia.pdf>、飛田『時事エッセイ』収録
- 370.2013/4/19-22、むくげの会・釜山・慶州合宿レポート 2013.4.19～21、むくげ258号、2013.5
<https://ksyc.jp/mukuge/258/hida-gasshyuku.pdf> 飛田『旅行』に収録
- 371.20130527 神戸新聞／民意はどこへ、飛田雄一、敦子
- 372.■20130600 移住連Mネット、飛田巻頭言、フォーラムと省エネ
- 373.亀戸に關東大震災虐殺事件の現場を訪ねる むくげ通信259号、2013年7月、

<https://ksyc.jp/mukuge/259/hida-kanntoudfw.pdf>

374. 川崎・桜本を訪ねました むくげ通信260号、2013年9月、<https://ksyc.jp/mukuge/260/260hida-kawasakiFW.pdf>
375. 2013年10月発行、金廣烈編著『日本市民の歴史反省運動—平和的な韓日関係のための提案』（ソウル、2013.10.31）に飛田、2011年 韓・日 合同学術セミナー、「私が見た日本の戦後補償運動の役割と課題」飛田雄一（神戸学生青年センター）、が韓国語に翻訳されて掲載されている。
<https://blog.goo.ne.jp/hidayuichi/e/3ce98a26e519321632fa54b1c2d3aba0>
376. 兵庫朝鮮関係研究会・30年を祝いました むくげ通信261号 2013.11 <https://ksyc.jp/mukuge/261/hida-hyoutyouken.pdf> 、飛田『時事エッセイ』収録
377. 66年ぶりにあらわれた建青のポスター in 神戸元町高架下 むくげ通信261号 2013.11
<https://ksyc.jp/mukuge/261/hida-motomati.pdf>
378. 読書案内 絵本『長寿湯の仙女さま』 むくげ通信262号、2014年1月、<https://ksyc.jp/mukuge/262/hida-ehonn.pdf>
379. 第7回強制動員真相究明全国研究集会「強制動員問題解決への道」&京都フィールドワーク—2014.3.15～16—、『むくげ通信』263号、2014.3、<https://ksyc.jp/mukuge/263/hida-sinsou.pdf> 飛田『再論強制連行』に収録
380. 戦後64年後の奇跡のような朝鮮人死亡者名判明—筑豊朝鮮人強制連行フィールドワークより— むくげ通信264号、2014年5月、<https://ksyc.jp/mukuge/264/hida-tikuhou.pdf> 飛田『再論強制連行』に収録
381. 「申京煥君を支える会」の記録—協定永住取得者初めての「強制送還」との闘い—（『むくげ通信』265号、2014年7月）<https://ksyc.jp/mukuge/265/hida-singyonnfan.pdf>
382. 20140702 毎日新聞神戸／集団的自衛権飛田
383. 尹達世さんを偲ぶ—尹さんとむくげの会 、むくげ通信266号、2014年9月、<https://ksyc.jp/mukuge/266/hida-yunsan.pdf>
384. (飛田がまえがき) 「建青」ポスターの発見について 西村 豪、むくげ通信267号、2014年11月、<https://ksyc.jp/mukuge/267/hida-nisimura.pdf>
385. 20141112 韓国連合ニュース／真相究明ネット、飛田、記事全体
386. 東アジアの和解と共生を問う（在日大韓基督教会高槻伝道所『たかつきプリム』19号、2014年12月）
387. 「神戸港 平和の碑」ほか（ひょうご部落解放・人権研究所『人権歴史マップ（淡路神戸増補版）』2014年3月）
388. 2014/10/11-14、濟州島一周サイクリング3回目、むくげ268号、2015.1、<https://ksyc.jp/mukuge/268/hida-saisyuu.pdf> 飛田『旅行』に収録
389. 強制連行真相究明ネットワーク・宇部集会&長生炭鉱フィールドワーク、『むくげ通信』269号、2015.3、<https://ksyc.jp/mukuge/269/hida-ube-2.pdf>、飛田『再論強制連行』に収録
390. 戦後64年後の奇跡のような朝鮮人死亡者名判明—筑豊朝鮮人強制連行フィールドワークより—、『むくげ通信』264号、2015.5、<https://ksyc.jp/mukuge/270/hida-yosu.pdf> 、飛田『再論強制連行』に収録
391. 韓国・朝鮮に思い入れたっぷり：神戸学生青年センターの活動（特集「在日」の現住所）抗路 = 항로：在日総合誌(1) 2015-09 p.152-159
392. 2015/4 群山合宿の前に麗水・順天を訪ねました、むくげ270号、2015.5 飛田『旅行』に収録
393. <飛田『再論強制連行』に収録せず？？？>「神戸港 平和の碑」に込めた思い—アジア・太平洋戦争と朝鮮人・中国人・連合国軍捕虜—、『歴史と神戸』54巻4号、2015.8 (5とダブルが入れておきたい) (有)
394. 兵庫在日外国人人権協会の講演録201508→、飛田『心に刻み』に収録
395. 2015/6/24-28、釜山クルーズ、むくげ271号、<https://ksyc.jp/mukuge/271/hida.pdf> 2015.7 飛田『旅行』

に収録

396. 2015/8/12-29、黄埔軍官学校と朝鮮人・神戸・南京をむすぶ会第19次訪中レポート、むくげ272号、2015.9 、、
<https://ksyc.jp/mukuge/272/hida-kouho.pdf> 飛田『旅行』に収録
397. 神戸学生青年センターのこと 『抗路』一号、二〇一五年九月、飛田『現場』に収録
398. ■20151021 関大人権室報、神戸・南京をむすぶ会
399. ■20151101 現代の理論、飛田雄一学生センターコラム
400. 明川農民組合、許吉松、そして、布施辰治、むくげ通信273号、2015年11月、
<https://ksyc.jp/mukuge/273/hida-273.pdf>
401. 20160113 飛田仙台講演、初校
402. 関東大震災、安田講堂、横綱公園？ 、むくげ通信274号、2016年1月、<https://ksyc.jp/mukuge/274/hida-ryogoku.pdf>
403. 20160208 飛田館長のおすすめハイキング1
404. ■20160700 GLOBE世界人権問題研究センター／飛田雄一「ゴドワイン裁判」と阪神淡路大震災
405. 名古屋・強制動員真相究明ネットフィールドワーク、『むくげ通信』275号、2016.3、
<https://ksyc.jp/mukuge/275/hida.pdf> 、飛田『再論強制連行』に収録
406. 投稿 犯罪事件 マスコミも謝罪を 朝日新聞 2016.3.18 、飛田『時事エッセイ』収録、もとの原稿、20160316
飛田雄一朝日新聞投書、東住吉火災で無期懲役となっていた青木さ
407. 20160501 神戸新聞／飛田六甲奨学基金
408. ■20160601 世人研、ゴドワイン裁判と阪神淡路大震災1600-1800字、20160629 世人研グローブ再校、雑誌
は、20160700 GLOBE世界人権問題研究センター／飛田雄一「ゴドワイン裁判」と阪神淡路大震災
409. ■20160611 植民地歴史博物館原稿、イギリスとインド
410. 本の紹介 森越智子『生きる 劉連仁の物語』、むくげ通信277号、2016年7月、
<https://ksyc.jp/mukuge/277/hida.pdf>
411. 20160821 にち俱楽部校正
412. ● ● 2016 夏 南京・拉孟フィールドワーク、むくげ通信278号、2016年9月、
<https://ksyc.jp/mukuge/278/hida.pdf>
413. 20161002 クリストチャン新聞／飛田、早稻田奉仕園集会
414. <本の紹介>『在日二世の記憶』、むくげ通信279号、2016年11月、<https://ksyc.jp/mukuge/279/hida.pdf>
415. 20161207 朝鮮新報／飛田雄一在日本書評ほか
416. 20170100 友井さん追悼文原稿、掲載20160925 ひょうご部落解放162号、飛田雄一、
417. 2017.1.13 16:23 産経新聞 震災時の善意つないで 20回 神戸学生青年センターが古本市、
<https://www.sankei.com/west/news/170113/wst1701130057-n1.html>
418. むくげの会——その歴史と現実、あるいは虚と実 むくげ通信280号（2017年1月29日）、
<https://ksyc.jp/mukuge/280/hida.pdf>
419. 川那辺康一、書評 『現場を歩く 現場を綴る』飛田雄一著（かんよう出版）、むくげ通信280号、2017年1月、
420. 20170115 ふえみん／飛田在日論書評
421. 現化史講義の試み：大学生の歴史認識とその関連で 関西大学人権問題研究室紀要 = Bulletin of the
Institute of Human Rights Studies, Kansai University / 関西大学人権問題研究室 編 (73) 2017-03 p.73-96
<https://iss.ndl.go.jp/books/R000000004-I028155505-00>
422. 『兵庫のコリアン・中国人・連合国軍捕虜・ノート』（2017年4月）<https://ksyc.jp/mukuge/hida-hyogo-note.pdf>

423. S CM現場研修のこと、以下の本にかいたはずだ。イエスが渡すあなたへのバトン：関西労伝60年の歩み
関西労働者伝道委員会編 かんよう出版, 2017.4
424. 第10回強制動員真相究明全国研究集会 2017.3.25～26 長野県松本市、『むくげ通信』282号、
<https://ksyc.jp/mukuge/282/hida-matamoto.pdf> 2017年5月28日、飛田『再論強制連行』に収録
425. ソウルの山は、晴れわたっていた——むくげの会九里フィールドワーク番外編——、むくげ通信283号、2017年7月、<https://ksyc.jp/mukuge/283/hida-tozann.pdf>
426. ■20170911 神戸新聞、見る思う、神戸・南京をむすぶ会
427. 20170919 アリラン通信、学生センター2100字
428. 「永登浦都市産業宣教会」を再び訪問して—2017.8 第11回日韓URM協議会—、むくげ通信284号、2017年9月、<https://ksyc.jp/mukuge/284/hida.pdf>
429. ■20170917 神戸新聞／飛田、神戸・南京をむすぶ会
430. 20170929 韓国国立強制動員歴史館FOMO／4号、飛田雄一ほか
431. 先生、ありがとうございました 一妻在彦先生とむくげの会—、むくげ通信285号、2017年11月、<https://ksyc.jp/mukuge/285/285kangsensei.pdf>
432. 20171200 月刊イオ／飛田『心に刻み』紹介、インタビュー記事
433. 20171227 朝鮮新報／飛田、旅行作家な氣分紹介
434. 日韓URM協議会の歴史：一九七八年～二〇一七年 キリスト教文化 (11) 2018-00 p.137-150
435. 「日韓市民100人未来対話」集会—済州島・2017.11.9～11、むくげ通信286号、2018年1月、<https://ksyc.jp/mukuge/286/hida.pdf>
436. 20180310 関大人権問題研究室室報60号、梁永厚さん追悼文飛田雄一 原稿は、20171027 原稿用紙、梁永厚さん追悼文、関大
437. 3月の沖縄は、あつかった—第11回強制動員真相究明全国研究集会などなど、『むくげ通信』287号、2018.3.、<https://ksyc.jp/mukuge/287/hida-okinawa.pdf> 、飛田『再論強制連行』に収録
438. ソウル都城ハイキング、むくげ通信288号、2018年5月、<https://ksyc.jp/mukuge/288/hida-hiking.pdf>
439. 20180303 追悼文、ステキなマツゲの今田さん
440. 「神戸港における戦時下朝鮮人・中国人強制連行を調査する会」の記録、むくげ通信288号（2018年5月27日）
441. 20180606 神戸新聞／紹介・飛田時事エッセイ—コリア・コリアン・イルボン（日本）—
442. <「明治産業革命遺産」と強制労働>長崎集会、『むくげ通信』289号、2018年7月29日)、<https://ksyc.jp/mukuge/289/hida.pdf> 飛田『再論強制連行』に収録
443. 20180820 大阪教区、2018シンポ飛田雄一原稿
444. ■20180825 ひょうご部落解放・人権研究所、1200-1300字doc、ネガティブの反対語はポジティブ
445. 「ユングフラウ、マッターホルンがほほえむ！？～スイストレッキング紀行～」、2018年9月、自費出版
<https://ksyc.jp/mukuge/hida2018swiss.pdf>
446. ■20180925 GQnetニュース巻頭言1300字、「地震・雷・火事・おやじ」
447. 南京・廠窖・常德への旅、むくげ通信290号、2018年9月、<https://ksyc.jp/mukuge/290/hida.pdf>
448. ■20181008 いのちの電話、1700字、「ハイジは、いい暮らしをしていた」、
449. 20181023 仲原良二さん追悼文、400-800字
450. シベリヤ被抑留日本人の補償要求と韓国人被強制連行者のそれ、むくげ通信291号、2018年11月、<https://ksyc.jp/mukuge/291/hida.pdf>
451. 20181107 朝鮮新報／サラム、飛田雄一、飛田部分だけ

- 452.20181216 松田妙子人民新聞、推薦
- 453.ソウル学術会議、そして植民地歴史博物館など訪問、などなど、むくげ通信292号、2019年1月、
<https://ksyc.jp/mukuge/292/hida.pdf>
- 454.学生センター前館長・辻建先生の思い出 むくげ通信293号、2019年3月、
<https://ksyc.jp/mukuge/293/hida.pdf>
- 455.「第12回強制動員真相究明全国研究集会2019.4.6-7 in 高崎」に参加して、むくげ通信294号、2019年5月、
<https://ksyc.jp/mukuge/294/hida.pdf>
- 456.20190513 朝鮮新報／飛田『再論 朝鮮人強制連行』書評
- 457.20190611 金沢集会、松井さん、このときの講演録がある
- 458.第9回在日朝鮮人運動史研究会・韓日民族問題学会 日韓合同研究会（東京）、むくげ通信295号、2019年7月、
<https://ksyc.jp/mukuge/295/hida-sagamiko.pdf>
- 459.20190710 7月15日号「華事寸評」（4）または「日中を翔る」（323）林港人、新聞記事がある
- 460.20190715 関西華文時報／飛田雄一の紹介
- 461.沈雨晟先生と私一おっかけの記、むくげ通信295号、2019年7月、<https://ksyc.jp/mukuge/295/hida-simsensei.pdf>
- 462.20190820 神戸新聞／飛田「震災と外国人」冊子
- 463.20190821 東京新聞／飛田震災冊子ほかTokyo190821
- 464.20190918 KGへの上山慧さんの推薦状
- 465.20190918 草京子さん、追悼文
- 466.ソウル・原州に「ハンサルリム」を訪ねる旅 むくげ通信296号、2019年9月、
<https://ksyc.jp/mukuge/296/hida.pdf>
- 467.「神戸電鉄敷設工事朝鮮人犠牲者を調査し追悼する会」の記録 むくげ通信297号（2019年11月24日）
<https://ksyc.jp/mukuge/297/hida-kd.pdf>
- 468.むくげの会とベ平連のあやしい関係、一小山帥人著『我が家に来た脱走兵～一九六八年のある日から～』を読んで、むくげ通信298号、2020年1月、<https://ksyc.jp/mukuge/298/hida-koyama.pdf>
- 469.■20191100 飛田雄一、A4、1枚、世界人権問題研究センター、個人請求権は残っている、20200100 世界人権問題研究センター「グローブ」、飛田韓国人の個人請求権
- 470.■20191230 吾輩も猫である、Facebookより
- 471.「強制動員真相究明ネットワーク」の歩み 立命館大学コリア研究センター『コリア研究』10号、2020年3月
- 472.『黒部・底方の声—黒三ダムと朝鮮人』を読み返しながら むくげ通信299号、2020年3月、
<https://ksyc.jp/mukuge/299/hida-kurobe2.pdf>
- 473.20200426 「本」についてのエッセイ、未完
- 474.「300号きたりなば、400号とおからず？」むくげ通信300号、2020年5月、
<https://ksyc.jp/mukuge/300/hida-kojin.pdf>
- 475.20200501 思想運動／書評、宮内陽子の本、飛田
- 476.コロナ自粛エッセイ（その一）極私的 ベ平連神戸事件顛末の記 自費出版、2020年7月、
<https://ksyc.jp/mukuge/hida-beheiren.pdf>
- 477.コロナ自粛エッセイ（その二）極私的 阪神淡路大震災の記録 自費出版、2020年7月、
<https://ksyc.jp/mukuge/hida-corona2.pdf>
- 478.3) 極私的 「コリア・コリアンをめぐる市民運動」の記録 自費出版、2020年7月
<https://ksyc.jp/mukuge/hida-corona3.pdf>

- 479.4) 極私的 南京への旅・ツアコンの記 2020年8月 <https://ksyc.jp/mukuge/hida-corona4.pdf>
- 480.5) 極私的 「青丘文庫」実録 2020年9月 <https://ksyc.jp/mukuge/hida-corona5.pdf>
- 481.6) 極私的「六甲古本市」全?記録 2020年9月 <https://ksyc.jp/mukuge/hida-corona6.pdf>
- 482.大逆事件、そして神戸、むくげ通信 302号（2020年9月27日）<https://ksyc.jp/mukuge/302/hida.pdf>
- 483.7) 極私的 ゴドワイン裁判 初・原告団長の記 2020年10月 <https://ksyc.jp/mukuge/hida-corona7.pdf>
- 484.<番外編> 1) オカリナ・ことはじめ <https://ksyc.jp/mukuge/hida-corona-okarina.pdf>
- 485.オウム真理教・早川紀代秀のこと むくげ通信 303号 2020年11月29日
<https://ksyc.jp/mukuge/303/hida.pdf>
- 486.『極私的エッセイ—コロナと向き合いながら』（社会評論社、2021年2月）※コロナ自粛エッセイ1～7を収録したもの <https://www.shahyo.com/?p=8481>
- 487.1971年1月にスタートしたむくげの会は、なんとなく?、無事?に、それなりに?、50周年を迎えることができました、むくげ通信304号、2021年3月31日、<https://ksyc.jp/mukuge/304/hida-kantougen.pdf>
- 488.2021年2月13日。毎日新聞、50年間の市民運動を回顧 神戸学生青年センター・飛田理事長、随筆集を出版／兵庫、<https://mainichi.jp/articles/20210213/ddl/k28/040/281000c>
- 489.20210304 毎日新聞、学生センターの移転、<https://mainichi.jp/articles/20210304/ddl/k28/040/250000c>
- 490.20210328 日韓歴史問題の現段階 むくげ通信305号、2021年3月28日 <https://ksyc.jp/mukuge/305/hida.pdf>
- 491.20210328 『季刊三千里』とむくげの会、神戸学生青年センター、あるいは私 むくげ通信305号、2021年3月28日 <https://ksyc.jp/mukuge/305/hida.pdf>
- 492.20210530 寺岡洋さんが、亡くなられました むくげ通信306号 <https://ksyc.jp/mukuge/306/306hida.pdf>
- 493.20210725 紹介／神戸市が公開した阪神教育闘争関連資料、むくげ通信 207号
<https://ksyc.jp/mukuge/307/hida.pdf>
- 494.20210926 アシスト自転車、再度山、そして、「敵国人」抑留所、むくげ通信 308号
<https://ksyc.jp/mukuge/308/hida.pdf>
- 495.20211128 泰緬鉄道と「戦場にかける橋」、そして「クワイ河マーチ」、むくげ通信 309号、
<https://ksyc.jp/mukuge/309/hida.pdf>
- 496.20220200、「『季刊三千里』とむくげの会、神戸学生青年センター、そして私」（韓国語、『破る国民国家、架橋する東アジア』（学古房、2022年2月）所収。同名のむくげ通信305号、2021年3月28日を加筆。）
- 497.20220327、近藤富男さんが、亡くなられました、むくげ通信311号、<https://ksyc.jp/mukuge/311/hida-kondou.pdf>
- 498.20220529、猪飼野地域新聞「おなら」、その屁のつっぱり、むくげ通信 312号、
<https://ksyc.jp/mukuge/312/hida.pdf> および <https://ksyc.jp/mukuge/312/hida-onarasairoku.pdf>
- 499.20220620 センチメンタルジャーニー「湊山小学校」<https://ksyc.jp/mukuge/hida-minatoyama.pdf> (1)
「湊山小学校」
- 500.202207 佐渡鉱山、歴史の真実に向き合って登録を 関西共同行動ニュース No91 (2022.7)
http://www17.plala.or.jp/kyodo/news91_4.html
- 501.20220700 飛田雄一書評、本のひろば、富坂キリスト教センター編 北東アジア・市民社会・キリスト教からみた「平和」
- 502.20220718-3 住宅についてのエッセイ、六甲ウイメンズハウス
- 503.20220731 ロナルド・藤好（ふじよし）さんの指紋押捺拒否の闘い むくげ通信 313号、
<https://ksyc.jp/mukuge/313/hida-ron.pdf>
- 504.20220808 「神戸学生青年センター」の50年—市民活動の拠点として歴史を刻む 現代の理論デジタル

<http://gendainoriron.jp/vol.31/column/hida.php>

- 505.20880828 飛田・コロナ自粛エッセイ番外編（2）「ちょうどちょうど・はっし」
<https://blog.goo.ne.jp/hidayuichi/e/86c9e23d4c7432f5d2c792b8ab22ac86>
- 506.20220900 青春18きっぷの旅＜宮田村、そして新潟＞（その1）
<https://blog.goo.ne.jp/hidayuichi/e/289289c8fe31f17bec70aec6a50b7b81>（その2）
<https://blog.goo.ne.jp/hidayuichi/e/f43cf9a074aaa68aa37d8d5ce772582b>
- 507.20220925 強制動員真相究明ネットワーク、新潟研究集会、佐渡フィールドワーク むくげ通信314号（2022年9月25日）
<https://ksyc.jp/mukuge/314/hida-sado.pdf>
- 508.20221025 ゆうさんの自転車生活 <https://ksyc.jp/mukuge/hida-cycling.pdf>
- 509.20221120 ソウルのあるき方、のぼり方、のみ方 <https://ksyc.jp/mukuge/hida-202211seoul.pdf>
- 510.20221127 久しぶりのソウル—日韓和解と平和プラットフォーム運営委員会などなど むくげ通信315号（2022年11月27日）
<https://ksyc.jp/mukuge/315/hida-nikkann.pdf>
- 511.20221127 むくげグルメの会（98）「ぐるり」（神戸・二宮商店街） 315号（2022年11月27日）
<https://ksyc.jp/mukuge/315/hida-gururi.pdf>
- 512.20230101 ゆうさんのハイキング生活 <https://ksyc.jp/mukuge/hida-tozan.pdf>
- 513.20230129 洪祥進さんを偲んで むくげ通信316号（2023年1月29日）
<https://ksyc.jp/mukuge/316/hida-hong.pdf>
- 514.20230326 デカンショの町、丹波篠山にコリアンの足跡をたずねるフィールドワーク むくげ通信317号（2023年3月26日）
<https://ksyc.jp/mukuge/317/hida-sasayama.pdf>
- 515.むくげ通信318号（2023年5月28日）むくげ通信書誌情報のデータベース化プロジェクトなどなど
<https://ksyc.jp/mukuge/318/hida.pdf>
- 516.宇奈月トロッコ電車に乗りました。—真相究明ネット、黒部・宇奈月フィールドワーク—、むくげ通信319号（2023年7月30日）
<https://ksyc.jp/mukuge/319/hida.pdf>
- 517.源流から170キロをくだる「四万十川サイクリング」、2023年10月15日発行、
<https://ksyc.jp/mukuge/hida-simannto.pdf>
- 518.20231000 飛田インタビュー韓光勲、社会運動史研究5、直接行動の想像力
- 519.むくげ通信322号（2024年1月28日）、「消えた年金問題、最後のひとり？—父・飛田道夫の場合」
<https://ksyc.jp/mukuge/322/hida-nenkin.pdf>
- 520.むくげ通信322号（2024年1月28日）、「ソウル大学路でミュージカル「キムジョンウク探し」を観てきました」
<https://ksyc.jp/mukuge/322/hida-kmusical.pdf>
- 521.むくげ通信322号（2024年1月28日）、「グルメの会番外編 韓国市民グループ「独立」との三宮交流会」
<https://ksyc.jp/mukuge/322/hida-gourmet.pdf>
- 522.ひょうごひょうご部落解放・人権研究所エッセイ、20230331 ひょうご部落解放185号、飛田入管エッセイ
- 523.兵有研と学生センターの50年 発行は、20240500？
- 524.「兵庫県南部大地震 記念の日」 追悼礼拝説教『そのとき私たちは？ そして今』 20240300発行、日本キリスト教団兵庫教区長田センター発行（NGO神戸外国人救援ネット30年誌『震災から30年 救援ネットのあゆみ』2024.12）にも収録。
<https://blog.goo.ne.jp/hidayuichi/e/7552dd13f35e7d6ce818976a59b8762a>
- 525.むくげ通信323号（2024年3月31日）、「強制動員真相究明ネットワーク」の歩み—2005年～2024年—
<https://ksyc.jp/mukuge/323/hida.pdf>
- 526.「八甲田山、○○の彷徨」、2024年5月10日発行、
<https://ksyc.jp/mukuge/hida-hakkouda.pdf>
- 527.むくげ通信324号（2024年5月26日）韓国・大田 「<移住民-URM>国際シンポジウム」 に行って

きました 、<https://ksyc.jp/mukuge/324/hida.pdf>

528.むくげ通信325号（2024年7月28日）「日本強制動員研究と活動20年」シンポジウム（ソウル）、富平フィールドワーク、そして、仁川移民史博物館の『むくげ通信』、<https://ksyc.jp/mukuge/325/hida.pdf>

529.2024年9月『ひこうき、のるかそるか』2024.9、<https://ksyc.jp/mukuge/hida-hikouki.pdf>

530.2024年9月『トランプ、のるかそるか』2024.9、<https://ksyc.jp/mukuge/hida-trump.pdf>

531.むくげ通信326号（2024年9月29日）大邱「在日合同研究会」、そして、未知との遭遇 、<https://ksyc.jp/mukuge/326/hida.pdf>

532.2024年9月「“すき焼き先生”が、きた」（神戸教会150年）、<https://ksyc.jp/mukuge/hida-kobechurch.pdf>
『神戸教会会報』2024年12月に再録。

533.2024年10月『列車、のるかそるか』2024.10、<https://ksyc.jp/mukuge/hida-ressya.pdf>

534.2024年11月『佐田岬から別府へ～フェリーでつなぐ、サイクリング』2024.11、<https://ksyc.jp/mukuge/hida-sadamisaki.pdf>

535.むくげ通信327号（2024年11月24日）ユネスコ世界遺産登録問題、<https://ksyc.jp/mukuge/327/hida-sado.pdf>

536.むくげ通信327号（2024年11月24日）むくげ食道楽（105）「四季の韓国料理・七川」、<https://ksyc.jp/mukuge/327/hida-gurume.pdf>

537.2024年12月『あそびエッセイ』2024.12、<https://ksyc.jp/mukuge/hida-aspbi.pdf>

538.2025年1月5日／2017年9月「三宮機銃掃射の跡？」（2025年1月5日、飛田Facebook参照）、<https://ksyc.jp/mukuge/sannomiya-kijyuu.pdf>

539.2025年1月『落語エッセイ』2025.1、<https://ksyc.jp/mukuge/hida-rakugo.pdf>

540.むくげ通信328号（2025年1月26日）<多文化共生の「共生」は、梁泰昊が初めて使った>説、<https://ksyc.jp/mukuge/328/hida-yanteho.pdf>

541.むくげ通信329号（2025年3月30日）神戸で亡くなられたオーストラリア元捕虜—お孫さんが神戸を訪問されました—、<https://ksyc.jp/mukuge/329/hida-horyo.pdf>

542.むくげ通信329号（2025年3月30日）◆《本の紹介》金泰俊『明日はどこまで行こうか—ペダルで越えたユーラシア』、<https://ksyc.jp/mukuge/329/hida-eurasia.pdf>

543.2025年4月『叔母・飛田悦子—その牧会人生—』、<https://ksyc.jp/mukuge/hida-etuko4.pdf>

<メモ>

1. 「ベ平連神戸」にコラム的なことは書いてないか？
2. ロシナンテに書いている（学生センターのことで、どういうことはない）
3. NGO神戸外国人救援ネットニュースの巻頭言など
4. 移住連ニュースの巻頭言もある
5. 神戸電鉄、神戸港の巻頭言？
6. ベ平連神戸のニュースにも・・・
7. ゴドワイン裁判ニュースも
8. 青丘文庫月報巻頭言も
9. ゆうさんの自転車／オカリナ・ブログをどう反映させるか？
10. Facebook <http://www.facebook.com/yuichi.hida.56> も・・・・・・

<また、出版計画？>

1. 「人物伝」、追悼文だけでなく、ゲルマン・キムとかのことも、仲原良二さん、草さんも／／『ゆうさんのコリアン交流録（仮題）』を書き始めている。
2. ショートエッセイ■、新聞のエッセイも・・・、センターニュースにも／むくげ通信の会の報告などを、そのエッセイ集の一章にする？／エッセイ集を三、四章分けると、もう単行本の分量だな？／新聞エッセイはひとまとめ？／ブログ、Facebookからも
3. 書評、本の紹介、けっこうたくさんある・、インターネットの時代なので必ずしも表紙／出版情報を載せる必要ない。
4. 国内フィールドワークの記録／国内・国外あわせて一冊？ → これは、神戸学生青年センターより冊子に。『あっちの山、こっちの川—むくげ通信・旅日記一』（神戸学生青年センター、2025年4月）
5. 韓国フィールドワーク『旅行』未収録のもの、+むくげ合宿、これも『あっちの山、こっちの川』に収録。